



気象大学校

Meteorological College

守ります
人と自然とこの地球
気象庁



●気象大学校について

気象大学校とは 気象大学校は、千葉県柏市にある気象庁の中核となる職員を養成するための気象庁の施設機関です。学生数は60名（約15人×4学年）国家公務員気象大学校学生採用試験によって採用された学生は、4年間気象業務の基盤となる地球科学、基礎学術、一般教養に加えて、防災行政などの知識・技術の教育を受けます。卒業後は、将来の幹部職員候補として気象業務の第一線で活躍することが期待されます。教育課程は大学設置基準に沿っていますので、卒業生には学士（理学）の学位が授与されます。

受験資格 令和9年3月までに高校卒業見込み（高校3年生）の者、浪人生は2浪まで受験することができます。

●カリキュラム

教育方針

将来の気象庁の中核職員として職務遂行に必要な素養を培う。
気象業務に関する技術開発や企画・指導に寄与しうる能力を養う。

教官

専任教官 26名
非常勤講師 10数名

教育課程

教養

人文科学、社会科学、
外国語

基礎

数学、物理学
化学、情報科学

専門

気象学、地震・火山学、
海洋学、セミナーなど

特修課程

防災行政に関する科目、
業務演習、観測実習
など

●採用されたら

学校生活

千葉県柏市にある気象大学校で学校生活を送ります。日常生活は寮生活を基本とし、規則正しい生活とチームワークを身に着けます。

給与

入学により、気象庁職員として採用されます。給与（毎月約17万円）の他、諸手当（地域手当、年2回の期末勤勉手当（ボーナス等）が支給されます。

授業料

入学金、授業料は必要ありません。但し、教科書代、食費等は自己負担となります。

休暇

1年に20日の年次休暇、3日間の夏季休暇等があります。

卒業後

全国各地にある地方気象台等に配属され、気象、地震・火山、海洋等の観測、予報、防災、調査、技術開発等を行います。南極観測隊等で活躍している卒業生もいます。

●魅力PR

気象大学校では、気象、地震火山、地球科学等の分野において、業務に密接に関連した専門的な教育が行われています。そのほかにも、気象庁内外で活躍中の講師による講義や職場実習など気象庁で働くための実践的な授業を入学金、授業料無しで受けることができます。また、年間を通じて様々な行事があり、学生が主体的に運営する行事もあります。そのほか、課外活動も盛んで体育会系・文科系のサークルがあり、勉学以外でも楽しい時間を過ごしています。毎年8月上旬にはオープンキャンパスも行われていますので興味のある方はぜひご参加ください。



●先輩からのメッセージ

私が気象大学校を志望したのは、かねてより自然科学・技術に関心があり、将来的には防災対応等で明確な社会貢献をなすことができる気象庁で働くことを望んでいたからです。現在は、卒業後に配属された地方気象台で、気象観測、地域防災、情報通信などの業務に主に携わっています。地方気象台の幅広い業務を遂行する上で、大学校での専門教育の重要性を実感しています。

気象大学校の一学年の人数は15名程度と少ないため、実態として教官一人が学生一人に限定して卒業研究の指導を行うことが多く、きめ細やかな指導の下で専門的な内容を深く掘り下げる環境があります。また、学生は気象庁職員が実際に業務で利用するシステムに部分的にアクセス可能であり、知識の業務上の活用が肌で感じることができます。

気象大学校の学生は給与が支給されるという環境があるからこそ、学業に専念することが可能だと思います。自然科学や技術への関心を持つ高校生や既卒生の皆様は、気象大学校をぜひ入学先の選択肢の一つとしてご検討いただければ幸いです。



気象大学校外観

令和3年度 気象大学校採用 Y.N

●連絡先

沖縄気象台総務課人事係 TEL：098-917-7940（内線515又は516）
気象大学校ホームページURL <http://www.mc-ima.go.jp/mcima/index.htm>

